

2026 年 9 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社三葉
代 表 者 名 代表取締役社長 北田健二
(コード番号：161A TOKYO PRO Market)
問 合 せ 先 取締役総務人事部長 田中尉之
(TEL. 093-475-4192)

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025 年 9 月 12 日に公表しました 2026 年 7 月期（2025 年 8 月 1 日から 2026 年 7 月 31 日まで）の通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 2026 年 7 月期通期連結業績予想と実績値の差異（2025 年 8 月 1 日～2026 年 7 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 （ A ）	3,651	111	127	79	79.90
実 績 値 （ B ）	3,592	71	114	70	71.00
増 減 額 （ B － A ）	△59	△40	△13	△9	
増 減 率 （ % ）	△1.6	△36.0	△10.2	△11.4	
（ご参考）前期実績 （2025 年 7 月期）	3,262	6	29	19	19.12

2. 差異の理由

これまで3年間、職員と共に基盤整備を断行し、当期は収益確保を実現する1年と位置づけ、職員一丸となり取り組んで参りました。売上高は前年比 10.1%増の 3,592,529 千円、営業利益は 969.5%増の 71,107 千円、経常利益に至っては 286.8%増の 114.979 千円まで回復し、親会社株主に帰属する当期純利益は 271.4%増の 70,999 千円と大幅な伸びを得る事が出来ました。しかしながら親会社・子会社の新施設開所遅延による人件費・賃料増こそございましたが、当期の売上高からの当期純利益までの推移から、来期における賞与支給額を大幅に増額する事と致しました。これに伴い、当第四半期（2026 年 4 月～7 月）に於いて、賞与引当金を従来計画以上に計上した為、営業利益が前回発表に比べ減少する結果となりました。この投資は、これまで3年に渡り、支え続けてきた職員の努力の賜物に應える為の決断で職員の努力に應え、来期に於ける全職員の士気向上を目的とするだけでなく、高いモチベーションを維持・向上させる事により更なる全体的経営数値の一層の向上を目指し、賞与の増額を大切な投資と位置づけた結果、実績値は業績予想を下回る結果となりました。

以 上